

葉栗連区

令和4年1月

地域づくり協議会だより 63号

発行日：令和4年1月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内）

電話：28-9001



新年のごあいさつ



葉栗連区連区長 ・ ・ ・ ・ ・ 白上 文明

葉栗連区のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染防止のため、行事が延期や中止になり、みなさまにご迷惑をおかけいたしました。

本年の行事は、新型コロナウイルスの収束を見ながらできる限り開催し、みなさまに喜んでいただけるようにしたいと思います。

今後とも葉栗連区の活動や事業にご支援や参加していただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年がみなさまにとって良い年でありますようご祈念申し上げます。



葉栗連区地域づくり協議会会長 ・ ・ ・ 戸松 但

葉栗連区のみなさまに初春のお慶びを申し上げます。

葉栗連区地域づくり協議会は、本年(令和4年)12月14日に設立10年の節目を迎えます。

令和3年度はコロナ禍の中にあって、依然多くの活動が制約を受けましたが、引き続き感染防止対策を遵守しつつ、「地域のことは地域で考え地域で決める」ことを基本に、各事業団体との協力・連携のもと「安全・安心で住みよい地域づくり」を目指していきたいと思います。

本年も連区のみなさまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



☆ 令和3年度交通安全標語 最優秀賞 決まる ☆

葉栗連区地域づくり協議会の交通安全推進事業の一環として、地元の小・中学校で交通安全標語を募集しました。その結果、各学校とも最優秀作品1点、優秀作品5点が選ばれました。

このうち最優秀作品の標語3作品を交通安全啓発物品に掲載し、各学校に配布しました。

交通事故は、いつ起きるか分かりません。常日頃から交通ルールを守り行動しましょう。

最優秀作品標語

わたっちゃえ！ そういう時こそ 止まるべき

葉栗小学校2年 黒川 悠人 さん

ヘルメット かぶって守ろう 命と未来

葉栗北小学校6年 森 彩乃 さん

なにげない いつもの道に 気をつけて

葉栗中学校3年 丹羽 佳澄 さん



☆ 市制施行 100 周年を記念しての『島文楽』公演 ☆

12月4日(土)、市制施行100周年を記念して、地元島村に約150年前から伝わる一宮市無形民俗文化財の「島文楽」を葉栗公民館で開催し、約120人が地域の伝統芸能を堪能しました。

演目には、五穀豊穡・子孫繁栄などの願いを込めた「三番叟」の賑やかな舞を披露していただきました。

また、若栗神社に参拝して男子が出生できたお礼に、尾張藩第七代藩主宗春公の側室栄間院から奉納された若栗神社所蔵のお守刀、島文楽の油絵、地元戦国武将の兼松正吉像の掛け軸などの貴重な文化財の展示も行われました。



公演終了後には、島文楽保存会小島会長による「島文楽と人形」と題して、人形の仕組みや操り方の解説をしていただきました。



若栗神社の吉川宮司からは、「一宮市内に約200社ある神社の格付けの1等級は真清田神社で、上位には石刀神社(今伊勢町)、貴船神明社(奥町)などがあり、7等級は坂手神社(佐千原)、8等級は若栗神社(島村)であり、男子出生を祈念するなら上位の神社に参拝するのが普通なのに、若栗神社に参拝したのは戦国武将兼松正吉の子孫の徳川家からの絶大なる信頼があったものと思われる。」との解説があり、参加者は若栗神社の歴史に興味を持って聞き入っていました。



今後も機会あるごとに葉栗連区の貴重な財産である「島文楽」の公演や地域の名所・旧跡などの講演を企画して行きたいと考えています。

葉栗連区の神社・仏閣

眼病平癒の観音様の寺 = 東林寺 =

島村東林寺(臨済宗妙心寺派)のご本尊様は千手観世音菩薩様です。この観音様は眼病平癒にご利益のある観音様として信仰されております。

その観音様をお造りになられたのは、行基菩薩(668~749年)で、去る平成10年に行われた行基菩薩1250年御遠忌の記念誌に「行基菩薩ゆかりの寺院」として東林寺千手観世音菩薩が掲載されております。



< 東林寺 >

行基菩薩は、僧侶として民衆の布教活動に努めただけでなく、橋を架け、堤防を築き、池を掘り、布施屋を建てるなどの社会事業にも尽力しました。

そんな行基菩薩の手による千手観世音菩薩様がどうして東林寺のご本尊になったのか、その経緯を東林寺本堂東壁面に掲示してあります 略縁起から要約して紹介します。

『その由来は、昔、島村に若栗の長者という人があり、一子なきを嘆き、宇夫須那明神に祈願の甲斐あって男子が誕生したが、その子は盲目でした。そこで夢のお告げにより奈良西の京の行基菩薩作の観音様を拝み続け、ついに開眼しました。そこでこの観音様を若栗にお迎えして寺院を建立し、開眼の奇瑞にちなみ山号を「瑞應山」、寺号を東遷にちなんで「東林寺」と名づけた。云々』

行基菩薩がお造りになられた千手観世音菩薩様は、それ以降、眼病を治すために多くの参詣者が東林寺を訪れるようになりました。

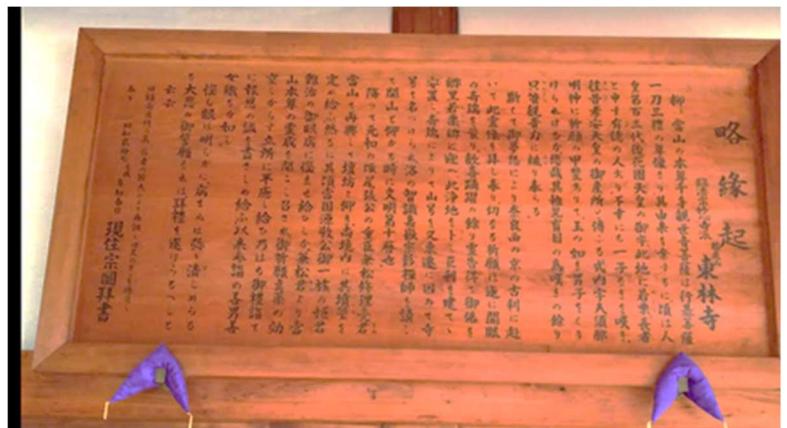
古来より日本人の観音信仰は深く、その代表的なのは西国三十三所観音霊場札所巡りです。中でも、第6番壱阪山南法華寺(通称壱阪寺)は、眼病に悩む人を救う観音様として知られています。

お里が盲目の夫沢市のために壱阪寺の観音様に願を掛け、やがて観音様の霊験により沢市の目が再び見えるようになった「壱阪霊験記」は有名です。島文楽の演目にもなっており、東林寺でも上演していただきました。東林寺の千手観世音菩薩様は、須弥壇上の厨子に安置してあります。

四天王様に守られた厨子の扉は常に開けてありますので、ぜひ一度ご参拝して下さい。



< 千手観世音菩薩 >



< 略縁起 >

☆ 葉栗北小学校：人権週間 ☆

「いじめをなくすためのよい人間関係づくり」



人権週間で、いじめ防止に向けて自分たちに何ができるかを話し合い、各学級でいじめをなくすためのスローガン作りを行いました。

「困っている子がいたら、進んで声をかけるようにしたい。」

「クラスのみんなの良いところを知り、深い絆で結ばれているような関係をつくりたい。」

「相手の気持ちを思いやった言動ができるようにしたい。」

などの意見をもとに、学級の実態に応じたスローガンを作り、**GoogleMeet** での人権集会で発表しました。各学級のスローガンは、昇降口に掲示してあります。

また、人権擁護委員さんにご協力いただき、人権に関するDVD視聴も行いました。

一人一人個性があることや、相手のことを考えて行動することが大切であることを改めて学びました。校長の人権に関する講話では、世界人権宣言の第1条について話を聞きました。

「誰もが生まれつき自由であり、平等に扱われるべきである」という世界人権宣言の理念に則り、自他の人権を守るという意識をもち、誰もが安心して過ごせる学校を築くことの大切さについて考えました。

これらの活動を通して、周りとの関わり方について考え、よりよい関係を築いていこうという気持ちを高めることができました。《寄稿：葉栗北小学校》

高齢者を狙った特殊詐欺が多発しています!!

12月2日午前9時30分ごろ、一宮市浅井町大日比野地内の高齢者宅に大学病院の医師をかたる者から「息子さんが突然、喉が痛くなったとのことで入院されました。

手術の必要がありますが、誰にも知らせたくないと言っています。」等の電話がかかっています。他の家にも同様な電話があり、だまされて現金を取られる被害が発生しています。

警察官、役所の職員、銀行員、百貨店の社員を名乗った詐欺事件が起きています。

- 家族が事故を起こした。
- 子供が緊急入院をした。
- 医療保険の還付金がある。 など、いろいろな手を使って連絡が来ます。
- 還付金手続きは、ATM の操作ではできません。

本当の話なのかよく考え、家族と連絡を取り、被害にあわないようにしましょう。

一宮警察署から一宮市にお住まいの皆様へ

わたしは大丈夫! せつたいだまされない! No!

これは詐欺の被害者の方 皆さんがおっしゃるセリフです!

一宮警察署管内では **詐欺** が多発!
令和2年中

37件 平均被害額 **160万円** 県内 **ワースト1**
前兆電話は被害件数の6倍以上! 1件あたり

防犯のポイント

- ☑ キャッシュカードは誰にも渡さない!
- ☑ 暗証番号は教えない!
- ☑ 『お金』に関する電話、ハガキ、メールなどがあつたらすぐに警察に相談をしましょう!

一宮警察署 生活安全課 ☎0586-24-0110